

【別紙】分類の考え方

- ① 「(1)調査が必要」の項目は、優先度が高いと想定されるリスクから順次調査
- ② 「(2)対策が必要」の項目のそれぞれの今後の対応方針は、下表の通り。
- ③ 「(3)対策実施中」の項目は、対策実施結果を踏まえ検証
- ④ 「(4)対策実施後の状況観察中」の項目は、状況変化があれば追加対策
- ⑤ 「(5)現状では追加対策不要」の項目のそれぞれの不要とした理由は、下表の通り。

No.	【1】リスクの存在箇所洗い出し						【追加対策の必要性確認】				
	主たる流出経路	カテゴリ	対策の必要性	種類	リスクの存在箇所	個別名称	対応状況	濃度 (高濃度:Ca137>10 ³ Bq/L、 比較的高濃度:Ca137>10 ² Bq/L、 低濃度:Ca137<10 ² Bq/L)	バウンダリ 型平/漏洩	優先度	今後の対応方針
8	K排水路	雨水の汚染源となるリスク その他構築物等	(2)対策が必要	建屋屋根	2号機R/Ｂ	・2号機R/Ｂ	(2)対策が必要	比較的高濃度	脆弱	早期	・シート設置や防水施工(近づけない) ・ルーフブロック撤去(取り除く) ・屋根から流出する雨水の浄化(取り除く)
9	K排水路	汚染源となるたまり水が存在するリスク	(2)対策が必要	設備内保水処理設備	滞留水移送設備	・配管、ポンプ等	(2)対策が必要	高濃度	堅牢	順次	・配管漏えいリスクを低減するための小ループ化(漏らさない) ・漏えい時の影響を緩和するための建屋滞留水浄化(取り除く) ・使用しない設備(隔離済み)の残水除去(取り除く)
17	K排水路	汚染源となるたまり水が存在するリスク	(2)対策が必要	タンク・槽類	使用済燃料プール・ウェル・DSP	・1～4号機SFP ・4号機RPV・ウェル・DSP	(2)対策が必要	比較的高濃度	堅牢	順次	・プールゲート等のバウンダリ機能を点検する。(漏らさない) ・3号機プールゲートの止水機能維持できるようにプール内ガレキを慎重に撤去(漏らさない)
30	A排水路	汚染源となるたまり水が存在するリスク	(2)対策が必要	タンク・槽類	5,6号機滞留タンク(フランジタンク)	・5,6号機滞留タンク(フランジタンク)	(2)対策が必要	低濃度	脆弱	順次	・リプレスを検討。(漏らさない)
36	B・C排水路	雨水の汚染源となるリスク	(2)対策が必要	産業物置き場	水処理二次廃棄物保管場所	・吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	(2)対策が必要	比較的高濃度	堅牢	順次	・モニタリングを継続し、漏えいのないことを確認する。 ・長期的に、雨水の浸入しない設備で保管する。(近づけない)
45	B・C排水路	汚染源となるたまり水が存在するリスク	(2)対策が必要	タンク・槽類	汚染水等滞留タンク	・廃液供給タンク(角型タンク)	(2)対策が必要	比較的高濃度	堅牢	順次	・小ループ化に際して滞留水処理のループから外す。(取り除く)
72	その他排水路等	汚染源となるたまり水が存在するリスク	(2)対策が必要	ピット類	逆洗弁ピット・吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	(2)対策が必要	低濃度	脆弱	順次	・雨水の流入防止(近づけない) ・浄化対策(取り除く) ・たまり水の除去(取り除く)
75	地下水(開渠内)	雨水の汚染源となるリスク	(2)対策が必要	汚染土壌	汚染土壌(H4エリア周辺以外)	・1～4号機タービン建屋東側近傍の土壌 ・過去に漏えいし、回収できなかった土壌(H4エリア周辺以外)	(2)対策が必要	比較的高濃度	脆弱	早期	・汚染した地下水くみ上げ継続(漏らさない) ・土壌の回収(取り除く)
79	地下水(開渠内)	雨水の汚染源となるリスク	(2)対策が必要	その他構築物等	建屋屋根	・1号機T/Ｂ ・2号機T/Ｂ	(2)対策が必要	比較的高濃度	脆弱	早期	・シート設置や防水施工(近づけない) ・ルーフブロック撤去(取り除く) ・屋根から流出する雨水の浄化(取り除く)
110	地下水(開渠内)	汚染源となるたまり水が存在するリスク	(2)対策が必要	ピット類	SDピット(1～4号機稼働予定ピット除く)	・1～4号機サブドレンピットNo.16(未復旧ピット)(水質調査済) ・サブドレンピットNo.16	(2)対策が必要	高濃度	脆弱	緊急	・溜まり水の汲み上げ(取り除く)
111	地下水(開渠内)	汚染源となるたまり水が存在するリスク	(2)対策が必要	ピット類	SDピット(1～4号機稼働予定ピット除く)	・その他1～4号機サブドレン(ディーゼルウェル含む)(未復旧ピット)(水質調査済)	(2)対策が必要	比較的高濃度	脆弱	早期	・溜まり水の汲み上げ(取り除く)
112	地下水(開渠内)	汚染源となるたまり水が存在するリスク	(2)対策が必要	ピット類	逆洗弁ピット・吐出弁ピット	・1～4号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット(水質調査済) ・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	(2)対策が必要	比較的高濃度	脆弱	早期	・雨水の流入防止(近づけない) ・浄化対策(取り除く) ・たまり水の除去(取り除く)
124	地下水(滞湾内)	汚染源となるたまり水が存在するリスク	(2)対策が必要	建屋	建屋滞留水	・建屋滞留水(1～4号機周辺建屋以外)(水質調査済) ・5/6号機建屋滞留水 ・固体廃棄物貯蔵所(6～8号機)・管理棟	(2)対策が必要	低濃度	堅牢	順次	・5/6号機建屋滞留水を増やさない ・漏らさない対策を実施(近づけない、漏らさない)
132	地下水(滞湾内)	汚染源となるたまり水が存在するリスク	(2)対策が必要	トレンチ類	5/6号機トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5/6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主要圧器ケーブルダクト等	(2)対策が必要	低濃度	堅牢	順次	・たまり水の除去(取り除く)

No.	【1】リスクの存在箇所洗い出し						【追加対策の必要性確認】					
	主たる流出経路	カテゴリ	対策の必要性	種類	リスクの存在箇所	個別名称	対応状況	濃度 (高濃度:Cs137¹⁰8Bq/L、 比較的高濃度:Cs137¹⁰3Bq/L、 低濃度:Cs137¹⁰3Bq/L)	バウンダリ 要準/備補	優先度	今後の対応方針	
145	地下水 (港湾外)	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	建屋	(2)対策が 必要	建屋滞留水	集中RW建屋(水質調査済)	・プロセス主建屋 ・HTI建屋 ・SPT建屋	(2)対策が 必要	高濃度	堅牢	順次	・浄化対策(取り除く) ・たまり水の除去(取り除く)
150	地下水 (港湾外)	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	ビット 類	(2)対策が 必要	SDビット(1~4号 稼働予定ビット除 く)	集中ラド周リサブドレン	・集中ラド周リサブドレン	(2)対策が 必要	低濃度	脆弱	順次	・溜まり水の汲み上げ(取り除く)
6	K排水路	雨水の 汚染源となる リスク	その他 構築物等	(5)現状で は追加対 策不要	建屋屋根	震災後に設置した建屋	・サブドレン移送ポンプ建屋 ・セシウム吸着塔板・第二依 管施設閉鎖式テント及びク レーン操作室 ・高台炉注ポンプ上屋 ・凍結プラント建屋(1),(2)/電気 品建屋 等	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・汚染のリスクが低い(事故後に設 置した屋根)
29	A排水路	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	設備内 保水水	(5)現状で は追加対 策不要	既設設備	No.2ろ過水系設備	・タンク、配管 等	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・貯留水の放射能が低濃度であるため (告示濃度以下)
60	B・C排水路	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	ビット 類	(5)現状で は追加対 策不要	その他井戸等	電源ケーブルビット(調査済)	・ハンドホール ・南側66kV開閉所ケーブルビ ット ・予備室ケーブルビット ・オーブントレンチ	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・たまり水が存在しないため
67	その他排水 路等	雨水の 汚染源となる リスク	排水路・川	(5)現状で は追加対 策不要	川	陳場沢川	・陳場沢川	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・水の放射能が低濃度であるため(告 示濃度以下) モータリングの充実に因る
73	その他排水 路等	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	ビット 類	(5)現状で は追加対 策不要	放水路	5号機放水路 (冷却用の海水を通路として使 用中)	・5号機放水路 (冷却用の海水を通路として使 用中)	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・水の放射能が低濃度であるため(告 示濃度以下)
74	その他排水 路等	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	ビット 類	(5)現状で は追加対 策不要	放水路	6号機放水路 (冷却用の海水を通路として使 用中)	・6号機放水路 (冷却用の海水を通路として使 用中)	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・水の放射能が低濃度であるため(告 示濃度以下)
107	地下水 (開渠内)	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	トレン チ類	(5)現状で は追加対 策不要	1-4号建屋接続 トレンチ	1-4号建屋接続 調査済トレン チ(水無し)	・2号機放射性流体用配管ダク ト ・3号機放射性流体用配管ダク ト ・1号機共通配管ダクト(北側) ・2号機共通配管ダクト 等	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・たまり水が存在しないため
108	地下水 (開渠内)	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	トレン チ類	(5)現状で は追加対 策不要	1-4号建屋未接続 トレンチ等	1-4号建屋未接続 調査済ト レンチ(水無し)	・No.1軽油配管トレンチ ・1~2号機ケーブルダクト ・1号機ボイラー室電気品室連 ラックトレンチ ・1~4号機発電機注入用蒸気 ガスポンプ室連給トレンチ ・1~4号機共用所内ボイラト レンチ 等	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・たまり水が存在しないため
118	地下水 (開渠内)	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	ビット 類	(5)現状で は追加対 策不要	放水路	4号機放水路 (出口を閉塞済)	・4号機放水路 (出口を閉塞済)	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・たまり水が存在しないため
120	地下水 (港湾内)	作業に より発生 する水	作業	(5)現状で は追加対 策不要	作業	5-6号機周辺エリアにおける 作業に伴う放水	・自衛消防訓練による放水	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・水の放射能が低濃度であるため(告 示濃度以下)
122	地下水 (港湾内)	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	設備内 保水水	(5)現状で は追加対 策不要	既設設備	5.6号機屋内既設設備	・5.6号機各系統・設備 (配管・タンク・ポンプ等)	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・バトロール等に設備の信頼度が維 持されていることを確認したため(通常 の発電所と同等の点検・保守を実施)
125	地下水 (港湾内)	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	建屋	(5)現状で は追加対 策不要	建屋滞留水	6号機DG6B建屋	・6号機DG6B建屋	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・たまり水が存在しないため
126	地下水 (港湾内)	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	建屋	(5)現状で は追加対 策不要	建屋滞留水	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・貯留水の放射能が低濃度であるため (告示濃度以下)
129	地下水 (港湾内)	汚染源となる たまり水が 存在する リスク	タンク・ 槽類	(5)現状で は追加対 策不要	原子炉・ウェル・D SP	5.6号機RPV・ウェル・DSP	・5.6号機RPV・ウェル・DSP	(5)現状で は追加対 策不要	-	-	-	・バトロール等に設備の信頼度が維 持されていることを確認したため(通常 の発電所と同等の点検・保守を実施)

No.	【1】リスクの存在箇所洗い出し						【追加対策の必要性確認】				
	主たる流出経路	カテゴリ	対策の必要性	種類	リスクの存在箇所	個別名称	対応状況	濃度 (高濃度:Cs137>10 ⁷ 0Bq/L、 比較的高濃度:Cs137>10 ⁶ 3Bq/L、 低濃度:Cs137<10 ⁶ 3Bq/L)	バウンダリ 基準/備考	優先度	今後の対応方針
130	地下水 (港湾内)	汚染源となる たまり水が存在する リスク タンク 槽類	(5)現状では追加対策不要	使用済燃料プール	5, 6号機SFP	-5, 6号機SFP	(5)現状では追加対策不要				-バトロール等にて設備の信頼度が維持されていることを確認したため(通常の発電所と同等の点検・保守を実施)
131	地下水 (港湾内)	汚染源となる たまり水が存在する リスク タンク 槽類	(5)現状では追加対策不要	屋外既設タンク	5号廃液サージタンク (溶接タンク)	-5号廃液サージタンク (溶接タンク)	(5)現状では追加対策不要				-貯留水の放射能が低濃度であるため (告示濃度以下)
133	地下水 (港湾内)	汚染源となる たまり水が存在する リスク トレンチ 類	(5)現状では追加対策不要	5/6号機トレンチ	5/6号機 調査済トレンチ (水無し)	-5号機共通配管ダクト -No.3 軽油配管トレンチ -5号機重軽油配管トレンチ -5号機薬品タンク連絡ダクト -サプレッションプール水配管トレンチ 等	(5)現状では追加対策不要				-たまり水が存在しないため
137	地下水 (港湾内)	汚染源となる たまり水が存在する リスク ビット 類	(5)現状では追加対策不要	SDビット(1~4号 稼働予定ビット除く)	5, 6号機サブドレン(ディーブ ヴェル含む)(水質調査済)	-5, 6号機サブドレンビット	(5)現状では追加対策不要				-貯留水の放射能が低濃度であるため (告示濃度以下)
138	地下水 (港湾内)	汚染源となる たまり水が存在する リスク ビット 類	(5)現状では追加対策不要	SDビット(1~4号 稼働予定ビット除く)	キャスク保管建屋サブドレン	-キャスク保管建屋サブドレン	(5)現状では追加対策不要				-貯留水の放射能が低濃度であるため (告示濃度以下)
146	地下水 (港湾外)	汚染源となる たまり水が存在する リスク 建屋	(5)現状では追加対策不要	建屋滞留水	共用プール建屋	-共用プール建屋	(5)現状では追加対策不要				-水の放射能が低濃度であるため(告示濃度以下)
151	地下水 (港湾外)	汚染源となる たまり水が存在する リスク ビット 類	(5)現状では追加対策不要	その他井戸等	深井戸	-深井戸	(5)現状では追加対策不要				-貯留水の放射能が低濃度であるため (告示濃度以下)
156	港湾内	汚染源となる たまり水が存在する リスク タンク 槽類	(5)現状では追加対策不要	その他	メガフロート	-メガフロート	(5)現状では追加対策不要				-貯留水の放射能が低濃度であるため (告示濃度以下)

No.	【1】リスクの存在箇所の洗い出し			【追加対策の必要性確認】		
	カテゴリ	種類	個別名称	対応状況	優先度	今後の対応方針
163	ダストが発生するリスク	作業に伴い発生	タンク解体 フランジタンク解体・残水処理	(2)対策が必要	早期	・タンク表面への散水(飛ばさない) ・ダストの吸引(取り除く) ・タンク内面への飛散防止剤の散布(飛ばさない)
164	ダストが発生するリスク	作業に伴い発生	タンク解体 フランジタンク切断	(2)対策が必要	早期	・屋内(負圧制御)での解体(飛ばさない)
174	ダストが発生するリスク	シート破損等に伴い発生	廃棄物保管場所 仮設保管設備	(2)対策が必要	早期	・破損時の復旧に備えた事前準備(閉じ込める)
175	ダストが発生するリスク	シート破損等に伴い発生	廃棄物保管場所 瓦礫類一時保管エリア(シート養生)	(2)対策が必要	早期	・容器収納への移行(閉じ込める)
184	ダストが発生するリスク	作業・破損等によらず発生	廃棄物保管場所 瓦礫類一時保管エリア(屋外集積)	(2)対策が必要	早期	・保管形態の改善(閉じ込める)